

今、何の病気が流行しているか！

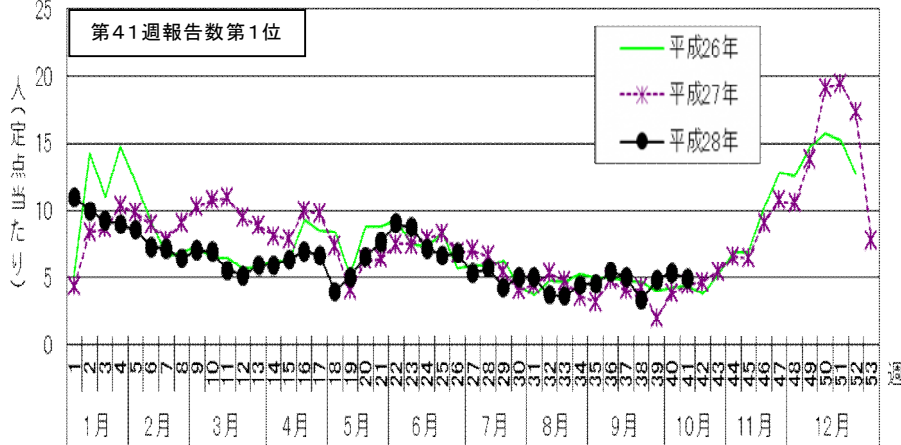
【感染症発生動向調査事業から】

平成28年10月10日（月）～平成28年10月16日（日）〔平成28年第41週〕の感染症発生状況

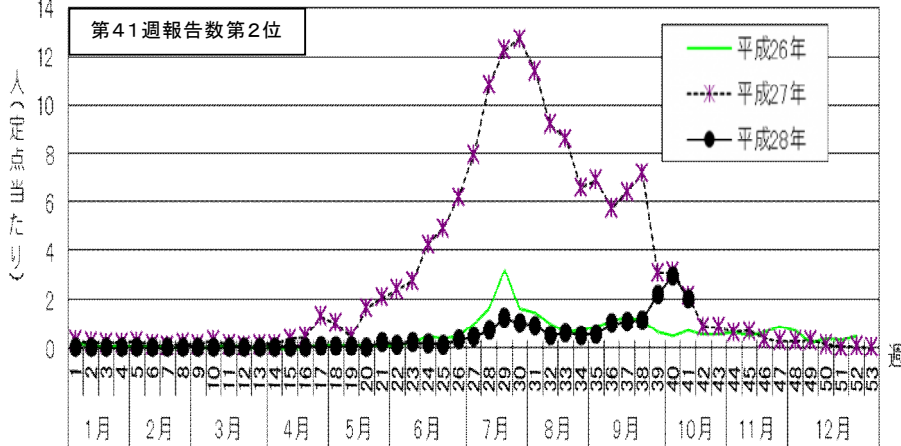
第41週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) 手足口病 3) 流行性角結膜炎でした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は4.92人と前週（5.36人）から横ばいで、例年より高いレベルで推移しています。
 手足口病の定点当たり患者報告数は2.03人と前週（2.97人）から横ばいで、例年より高いレベルで推移しています。
 流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は1.67人と前週（2.22人）から減少し、例年より高いレベルで推移しています。



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



手足口病発生状況(3年間)

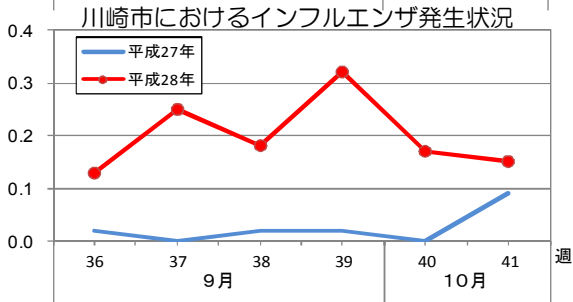
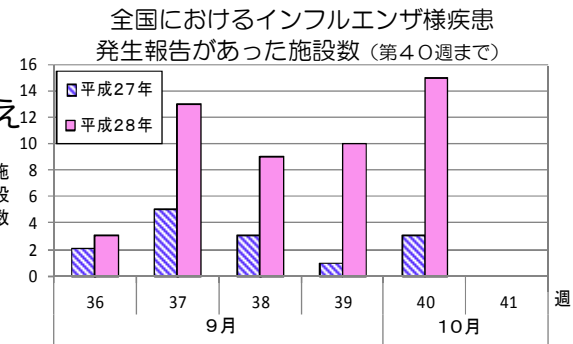


インフルエンザワクチンの接種はお早めに！

インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等の報告数が、第37週（平成28年9月12日～9月18日）以降、全国的に大幅に増加しています。

川崎市においても、第42週（10月17日）に、今シーズン初めてのインフルエンザによる学級閉鎖の報告があり、定点当たり報告数も昨年に比べ多くなっています。

インフルエンザは例年12月～3月頃流行し、1月～2月に流行のピークを迎えますが、年によっては流行の開始が早くなることもあります。予防接種などの対策は、お早めにご検討ください。



今シーズンのワクチンについて

2015/2016シーズンから、A型2種類、B型2種類の計4種類が含まれたワクチン（4価ワクチン）が導入されています。

- A/H1N1亜型（2009年以降の流行株）
- A/H3N2亜型（いわゆるA香港型）
- B型（山形系統）
- B型（ビクトリア系統）

※A/H3N2亜型のワクチン株のみ昨年度と異なります。